

令和5年

目黒区教育委員会

第32回定例会会議録

(令和5年10月3日開催)

第32回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和5年10月3日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	松村真理子
	教育委員会委員	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 覚
	教育委員会委員	若井田正文

出席職員	教育次長	樫本達司
	教育政策課長	濱下正樹
	学校統合推進課長	西原昌典
	学校運営課長	関 真徳
	学校ICT課長	藤原康宏
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	寺尾千英
	教育支援課長	山内 孝
	統括指導主事	鈴木将大
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	斎藤洋介
	八雲中央図書館長	伊藤信之

書記		小見哲一
		矢吹翔太

(議事日程)

- |      |      |  |
|------|------|--|
| 日程第1 | 報告事項 | 令和5年第3回区議会定例会一般質問の答弁(要旨)について           |
| 日程第2 | 報告事項 | 鷹番小学校建て替え及び複合化の進め方について(案)              |
| 日程第3 | 報告事項 | 令和5年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果について |
| 日程第4 | 報告事項 | 令和5年度学級閉鎖等の状況(10月2日現在)                 |
- 資料配付
- ・統合新校開設準備NEWS

(午前9時30分開会)

- 教育長                    令和5年第32回目黒区教育委員会定例会を開会します。  
本日の欠席委員、欠席職員はいません。署名委員は、川嶋委員  
です。  
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1            令和5年第3回区議会定例会一般質問の答弁(要旨)について  
(報告事項))

- 教育政策課長            (資料により説明)

- 委員                    熱中症対策に関する質問がなかったため、お聞きします。

この夏、熱中症警戒アラートが保護者連絡システムを通して  
多く通知されました。その際、学校では部活動や体育の授業のと  
きに、どのような対応をしているのか教えてください。

熱中症警戒アラートでは、当日や翌日の暑さ指数の予測が送  
られてきます。例えば、東京の暑さ指数が32や33と示された  
時は、部活動は中止になると思っていましたが、中止にはなりま  
せませんでした。学校では、実際の暑さを測って判断しているのだ  
でしょうか。

- 教育指導課長            まずは、指数計を活動場所に持っていき、測りながら様子を見  
ています。この夏の状況を踏まえて、学校運営課から指数計の追  
加の配付などを受けているところです。基本的にはアラートが出  
るということは、暑さ指数が高くなるという予告であるので、  
気をつけるということが一番だと考えていますが、部活動にし  
ろ、体育にしろ、負荷の重い運動から軽めのものへの変更や、休  
憩時間の頻度の増、ミストシャワーの活用、さらに空調を入れた  
体育館への活動場所の変更など、これらのことを検討しながら  
実施します。

特に夏休み中は、大会の会場になっている学校がいくつかあ  
り、学校としても判断に迷う場合があります。学校から教育指導  
課へ相談が来ることもありましたが、その際には試合を中止し  
たときの振替の可否なども調整しつつ、どのように実施するか  
を判断しながら進めてきました。

そのような状況の中で、熱中症対策を講じながら、暑さの中  
でも運動や部活動を一定程度保証していくということについては、

各学校、非常に神経を使って取り組んでいます。一律に指数は出ますが、学校の環境の違いや、天気の状態などによって指数も動くので、今回、中学校連合体育大会についても指数を測りながら実施しましたが、午後、日が陰ると30を下回っていたなど、天候や湿度の状態を見ながら対応してきたところです。

○委員 熱中症警戒アラートのメールを読むと、間違いなく屋外での運動は中止だろうと思うような文面が記載されています。目黒区立学校・園熱中症対策ガイドラインには、暑さ指数31以上は危険とされていて、熱中症予防のための運動指針によると、運動は原則中止と書いてあります。実際には、そのような状況でも工夫をしながら、暑さ指数を測りながら気をつけて対応してくださっているのであれば、メールの文面と実際の対応に矛盾を感じてしまいます。メール文面を検討してはどうでしょうか。

○教育指導課長 今年のような暑さは特別な状況だとは思いますが、来年の対応については、メール文面とその頻度も含めて、総合的に考えていきたいと思えます。

アラートが出たときの対応については、特に中学校の校長先生は神経を使って考えていると感じています。まずは命が大事ですから、そこを最優先にしつつ、これまで積み上げてきた子どもたちの思いなども捉えながら、どのように子どもたちや保護者の皆さんに説明しながら対応していくか、今年の夏の経験を踏まえて、来年度以降も考えていく必要があると捉えています。

○教育政策課長 熱中症アラート通知の補足をしますと、アラート発出時には保護者に対して保護者連絡システムにより、その都度周知を図っています。熱中症アラートの周知件数ですが、昨年度が9件、一昨年度が6件でしたが、今年度は猛暑の影響で倍以上に増えています。

保護者周知の際の注意喚起の文章についても、多くの保護者が目にするものであるという認識のもと、誤解がないような内容で伝えていく必要がありますので、表現の仕方についても、今後しっかり検討した上で対応していきます。

○委員 議員の質問項目に「保護者に寄り添う支援」があります。不登校やいじめの問題が大きな問題になっていますが、保護者会を開くことで、保護者自身も救われていくのではないかと思います。最近では、共働き家庭が多く、なかなか保護者会の開催は難しいかと思うのですが、成り立つのでしょうか。

○教育支援課長 めぐるエミールでは、保護者との面談を実施しています。その中では、全体で保護者同士がお話しできる全体会という会を設けており、保護者同士が関わり、情報共有できる機会を提供しているところです。一方で、保護者の間での実際の交流がなかなか進まず、保護者の孤立感の解消には至っていないことも認識しています。

自発的に集まり交流を行うという私的な保護者の会につなげるように、保護者向けのハンドブックを作り、これから取組を発展させていこうという状況です。

○委員 答弁の中に、断熱化が十分になされている3校とあります。おそらく全面改築や全面改修が行われた学校かと思いますが、断熱化されている理由と、この3校の名前を教えてください。

○学校施設計画課長 3校というのは、目黒中央中学校、東山小学校、碑小学校です。その3校は全面建て替えを行っていて、その当時から断熱化は当然行っていくものと考えています。東山小学校と目黒中央中学校については、特に断熱に力を入れており、外断熱を行って、外部からの熱化を低減する構造になっています。昨今のような気候変動にあっても外気の影響を受けにくい構造になっているので、十分対応できる造り方をしています。

○教育長 今回の資料は答弁の要旨ということで、実際は3校の学校名を挙げて答弁しています。

その他ご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。

次に、日程第2を議題とします。

(日程第2 鷹番小学校建て替え及び複合化の進め方について(案)(報告事項))

○学校施設計画課長 (資料により説明)

○委員 参考資料2の地図と航空写真についてですが、地図で示す鷹番小学校の範囲には、航空写真に写る隣の駐車場も含まれているのでしょうか。あるいは、建て替え計画の範囲に含まれているのでしょうか。

○学校施設計画課長 航空写真に写る小学校の右側は、プールと駐車場の間が敷地境界になっているため、この右側は企業の土地となっています。今回の計画には含まれません。

○委員 参考資料2の地図の小学校敷地に、企業の土地も入っているように見えますが、区の土地ではないので、今回の計画の対象にならないことは理解しました。

○教育長 その他ご質問等がありますか。  
特にないようですので、この報告を受けました。  
次に、日程第3を議題とします。

(日程第3 令和5年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果について(報告事項))

○教育指導課長 (資料により説明)

○委員 3ページの体力合計点を見ると、東京都と比較して目黒区は平均を上回っているものがほとんどですが、全国と東京都で比べると、東京都は平均を下回るような印象を受けました。

また、中学校連合体育大会の資料に記載された過去の大会記録保持者を見ると、20回前などのように随分古い記録が残っています。最近の生徒は体力が落ちて記録を更新することが難しくなっているのではないかと、気になりました。

○教育指導課長 全国値は小学校5年生と中学校2年生から抽出した値であり、現時点では昨年度の値が最新となります。

昨年度の日黒区、東京都、全国との比較において、小学校5年生の男子は目黒区が一番高く、次いで東京都、全国となり、女子は全国、都、区ともほぼ同じぐらいの数値でした。

中学校2年生では、男子は小学校と同様に目黒区が一番高く、次いで、全国、東京都という状況、女子は目黒区が一番低く、次いで東京都、全国という状況でした。中学校2年生女子については、今年度は東京都を上回っています。

中学校連合体育大会の記録更新については、長年続けている大会なので記録を更新することはなかなか難しいのですが、今年度は2種目で記録が更新されています。

○教育長 調査内容の表を見ると、中学校段階で持久走と20mシャトルランに「選択」とありますが、3ページの大きな表を見ると、持久走、20mシャトルランとも数字が入っています。ここでいう選択というのは学校ごとに選択しているということでしょうか。

○教育指導課長 中学校9校では、4校が持久走のみを実施しています。残りの

5校は持久走と20mシャトルランを生徒が選択しています。  
持久走を選択している生徒の方が多い状況です。

20mシャトルランは最短20mから参加できるため、特に、特別支援学級がある学校では、男子1,500m、女子1,000mを走り切るより比較的測定しやすいため、選択できるようにしているものと捉えています。

- 教育長            その他ご質問等がありますか。  
                         特にないようでしたので、この報告を受けました。  
                         次に、日程第4を議題とします。

(日程第4            令和5年度学級閉鎖等の状況(10月2日現在)(報告事項))

- 学校運営課長    (資料により説明)  
○教育長            この件についてご質問等がありますか。  
                         特にないようでしたので、この報告を受けました。

資料配付  
・統合新校開設準備NEWS

- 教育長            その他何かありますか。  
                         特にないようでしたので、以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時40分閉会)